



「磐梯山ジオカレー」をお披露目する関係者ら



磐梯山ジオパークを紹介するランチョンマット

ライスでかたどる磐梯山

新メニュー「磐梯山ジオカレー」提供開始

猪苗代、磐梯、北塩原の3町村などをつくる磐梯山ジオパーク協議会では、新ご当地メニュー「磐梯山ジオカレー」を発表しました。1888(明治21)年の磐梯山噴火にちなみ、7月15日から磐梯山周辺の21店舗で提供しています。

「磐梯山ジオカレー」は、磐梯山をかたどったライスが特徴。同協議会の専門員とジオガイドが開発した専用のライスの型を使用して、大磐梯と櫛ヶ峰、赤埴山の形を正確に再現しています。カレーのルーやトッピングは店舗ごとに異なっており、地元食材を1品以上使用しています。同協議会専門員の蓮岡真さんは「店舗や季節により使用する地元食材が変わります。今後も磐梯山ジオパークのグルメを通じた楽しみを広げていきたいです」と話しました。

猪苗代町内の提供店は次のとおりです。

【提供店】猪苗代地ビール館、西ノ沢温泉たなべの湯(要予約)、HERO'S DINER、猪苗代リゾートホテル、レイクサイド磐光、猪苗代ハーブ園、ペンションすまいる(要予約)、吾妻食品 Café 小春日和、磐梯高原南ヶ丘牧場

和みいなの来館者が10万人に

到達を祝い記念セレモニー

町図書歴史情報館「和みいな」では6月28日、平成26年4月の開館以来の来館者が10万人に達し、同所で記念セレモニーが行われました。節目の10万人目となった渡部沙織さん、瑠菜さん、朔くん親子がくす玉を割り、兼田芳宏館長が記念品として鉢植えの花と図書カード500円分を手渡しました。兼田館長は「ご来館いただきありがとうございます。これからも和みいなの利用してください」とあいさつを述べました。



兼田館長から記念品を受ける瑠菜さん(中央)と朔くん(左)



口笛奏者の柴田晶子さんのステージで共演する子どもたち

学びの祭り盛大に

学びいな夏祭り 2017

学びいな夏祭り2017は7月16日、学びいनाで開かれました。学びいな館内の体験・展示コーナーでは、町体験交流協会に加入する団体の作品が展示されたほか、茶道体験や絵画体験、そば打ち体験などが行われました。屋外では、バンド演奏や口笛コンサートなどのステージイベントが繰り広げられたほか、ミニS Lの運行や起震車による地震体験などが行われ、会場を訪れた来場者はさまざまな展示や体験を楽しみました。



案内看板を設置した江花俊和会長(左から3人目)、岡部軍美熱海史談会長(右から3人目)ら

Pick Up

今月のイベント

戊辰戦争激戦地 母成峠に案内板 を設置

猪苗代地方史研究会と熱海史談会で行く「戊辰戦争150年会津藩母成峠陣跡保存協議会」は7月5日、母成峠の戊辰戦争記念碑近くに会津藩陣跡を説明する案内板を設置し、除幕式を行いました。

除幕式では、江花俊和猪苗代地方史研究会会長が「来年、戊辰戦争後150年を迎えます。歴史を学び、後世に伝えていきたい」とあいさつ。前後公町長らが祝辞を述べました。

1868(慶応4)年1月(旧暦)の鳥羽伏見の戦いで始まった戊辰戦争は、江戸城が開城し徳川幕府が倒れても戦いは終わらず、戦火は東北に及びます。同年7月29日に二本松城が落城。8月21日、現在の郡山市と猪苗代町の境に当たる母成峠で、峠を守備する旧幕府軍と新政府軍が衝突し、激しい攻防戦が繰り広げられました。兵力に勝る新政府軍は母成峠を突破し、2日後には会津若松城下に突入。籠城戦を強いられた会津藩は9月21日、降伏しました。

同協議会では、会津藩が母成峠に構築した防塁や塹壕、砲台跡などの陣跡を後世に伝えようと「公益信託うつくしま基金」の支援を受けて案内板を設置し、陣跡を解説するリーフレット5千部を作成しました。

まちの応援マガジン いなわしろ
広報猪苗代
 Aug.2017
8
 No.682

今月の表紙



【撮影日】 7月13日

【撮影場所】 猪苗代警察署

猪苗代中学校2年生の職場体験。真剣な表情で作業するのは、猪苗代警察署で鑑識の仕事を経験する佃智希さんです。はけを使ってペットボトルや缶に付着した指紋を採取しました。(関連11ページ)

Contents — 【目次】

- 02 Pick up
- 04 写真特集 第69回磐梯まつり
- 06 まちのわだい
- 10 笑顔でこんにちは／夏休み企画展
- 11 スクールトピックス
- 12 国保のおはなしその2
- 14 いなわしろタウンページ
- 18 暮らしの情報広場
- 20 みんなの美術館／食生活改善推進員コーナー